

○事業目的

中川原地区は、糸魚川市街地から南方へ約20km、一級河川姫川の左岸側に位置しています。当地区は、県内有数の豪雪地であり、急傾斜地かつ斜面上の植生密度が小さいため、雪崩の危険性が非常に高い場所となっています。斜面は人家や診療所、糸魚川市と長野県大町市を結ぶ重要な公共交通機関であるJR大糸線などが隣接しており、雪崩が発生した場合、重大な被害を及ぼすおそれがあります。新潟県では、平成25年度から令和5年にかけて雪崩対策事業として、計9段、総対策延長約350mの雪崩発生予防フェンスを整備しました。

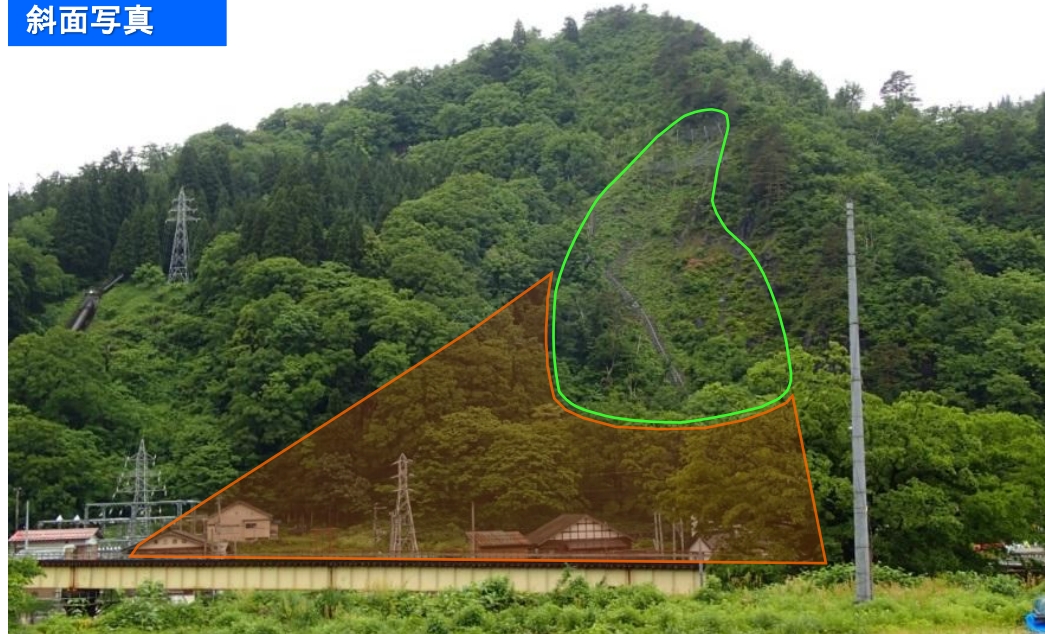
○事業概要

- 事業箇所：糸魚川市山之坊地内
- 事業内容：雪崩対策（雪崩発生予防フェンス）
- 事業期間：平成25年度～令和5年度

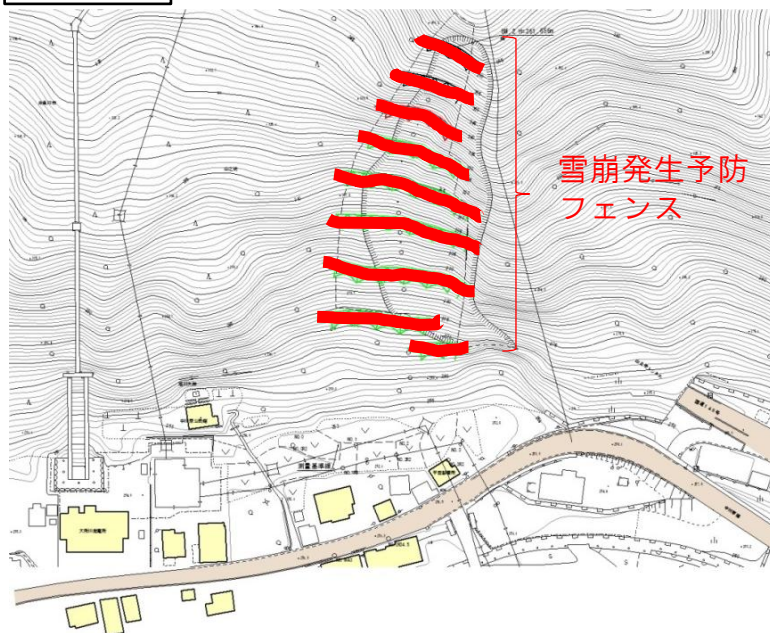
位置図



斜面写真



平面図



冬季施設状況



頭部の雪底
張り出し

斜面上にクラック
有り、スノーボー
ル落下跡有り

急勾配で植生も疎、斜面末端部は人家に迫る